

青森県の肉用種鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑い発生！ (家きん国内9例目)

【概要】

- ・青森県三戸町 肉用種鶏 約7,000羽
- ・簡易検査および遺伝子検査で陽性。
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<今年も昨シーズン並みの発生が懸念されます>

※全国いずれの地域においても発生リスクがあります。

※小規模農場も例外ではありません！

<鶏舎出入口でのウイルス侵入防止対策>

※農場出入口がバイオセキュリティのかなめ(家保たより第35号より)だとすると、
鶏舎入り口は、バイオセキュリティ最後の砦です。

①外来者の出入りは最小限度

②家きん舎ごとの専用靴の設置並びに使用等

・専用靴の使用等で舎外に存在する病原体を中に持ち込まない。

・履物の交換の際、スノコ等を利用して交換前の履物等の汚れが交換後の履物も等に伝搬することを防止。

③消毒槽の設置

・鶏舎ごとの入口に踏込消毒槽を設置。

・消毒液は毎日、もしくは汚れ次第交換。

④手指の消毒

・鶏舎ごとの入口に手指消毒用の手押式消毒器等を設置。

①早期発見・早期通報

②家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認

③ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した

農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底

④農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018